

白庭台防災だより(2022年7月号)

白庭台自主防災会
2022.7.1

「白庭台地区防災計画」は、白庭台で想定される災害と被害を明らかにし、その予防と災害時の対応を定めたものです。

地区防災計画は、一般的な防災ではなく、白庭台に応じた防災対応です。

今月は、駅前マンションの大地震の対応について2回に分けて説明をします。

ローレルスクエアについては、2000年6月施行の新・新耐震基準を満たしていますので、白庭台で想定される大地震の最大想定震度(震度6弱から6強)では、大きな被害はないものと思われます。

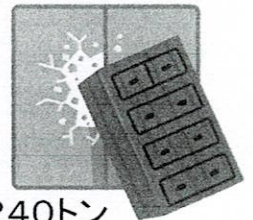


避難所利用よりも在宅避難を想定

- ・避難は、大地震等により家屋が損傷し、余震が来たら危険なので避難所を「一時避難の場として利用する場合」と、自宅が全壊または半壊して、自宅に住めないのが「生活再建の場として利用する場合」があります。

上記のことからするとローレルスクエアの場合は在宅避難が想定されます。

在宅避難の場合は、電気、食料、水、トイレの問題がでてきますので食料、照明、カセットコンロ、便袋、防臭袋等の準備が必要です。(南海トラフ地震を想定すると、約1週間分を用意する必要があります。白庭台地区防災計画10ページを参照してください。)



ただし、飲料水は、駅前マンションの受水槽は、大地震時に対応できるようになっています。マンション全体で災害時に使える量は、約240トンですので、水の確保については問題ありません。ただし、手動でバケツ等で給水を行うこととなりますので、非常時の給水をどうするのかについて普段から理解しておく必要があります。

つぎに災害時のトイレ処理は、固液分離と防臭袋の利用が必要です。「固」は、大や紙類のことで、水道が止まったら、固を便器から流さないようにしてください。

携帯トイレや便袋に採取し、臭いが気になる場合は防臭袋に入れてください。

小については、下水管から放流し、建物の損傷がない場合は、自宅のトイレから液を流すことが可能です。今回は、以上です。次回は地震直後の対応と予防について説明をします。

白庭台地区防災計画説明動画(約20分)

◎ユーチューブで視聴

<http://youtu.be/M5WfjuWV2A>

◎白庭台自治会ホームページで視聴

<http://shiraniwadai.jp/>

※白庭台自治会の文字検索も可

